

2006年6月15日

ユニセフ*コープ ネットワーク

ほむ・ほむ通信

No. 32

(財) 日本ユニセフ協会広島県支部が誕生しました！



写真①川上小学校ワークショップ
「水運びって大変。紙袋も作ったよ！」

昨年10月17日に設立発起人会が立ち上がり、お知らせと会員拡大に奔走すること4ヶ月余り。ついに今年3月6日に設立大会を開催することができました。設立発起人会発足後は、県内の皆さんにユニセフの活動を知っていただくためのポスター展や国際交流イベントへの出展、会員拡大、ボランティア募集と養成講座の開催、講師要請への対応とめまぐるしく取り組んできました。その中でも特に重要な課題となったのが会員拡大。昨年9月末で116名しかいなかつた会員を、設立後の県支部の運営予算を確保するため300名にまで増やすことを目標に取り組むことになり、募集と共に県内の諸団体・企業の訪問を重ねてきました。

そして迎えた3月6日。結局300名の目標は達成できませんでしたが、3月末には会員数298名にまでこぎつけることができました。引き続き会員拡大にも力を入れて、県支部の財政基盤を確立するだけでなく、子どもの権利を中心据えるユニセフの理解者・支援者を増やしていきたいと思います。

県支部設立後はボランティア組織も発足し、ニュース発行、ラブウォーク～ヨガ編、ひろしまフラワーフェスティバルへの出展、ラオス報告会と活動をすすめています。生協をはじめとする地域の諸団体の皆さん、県内のボランティア活動・国際援助活動にたずさわっている先輩の方々に助けられて活動をすすめることができます。今後も県内の幅広い方々との連携を大切にしていきます。



写真②4月に開催したラブウォークヨガ編～ヨガ体験のあとワークショップで私たちができることを考えました。

この間お世話になった広島県生協連合会をはじめとする県内の生協の皆様にお礼を申し上げます。そして今後もよろしくお願ひいたします。広島県支部では世界の子どもたちの現状やユニセフの活動を知っていたらしく企画をこれからも予定しています。ぜひご参加ください。そして私たちと一緒に、世界の子どもたちのために活動してみませんか。

(財) 日本ユニセフ協会広島県支部 小都妙子



写真③5月3日～5日、ひろしまフラワーフェスティバルに出展し、たくさんの方に立ち寄っていただきました。

今後の活動予定

★ユニセフ写真展「今、アフリカで起きていること」と
き：6月22日(木)～6月27日(火) 10時～17時
ところ：広島市アステールプラザ

★ユニセフキッズフォーラム（日本生協連、広島県生協連と共に）
と き：8月5日 10時～11時30分
ところ：広島YMCA

<お問い合わせ先>

(財) 日本ユニセフ協会広島県支部
広島市中区上八丁堀8-23 林業ビル4階
TEL：050-3036-9055
FAX：082-302-3850
MAIL：unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

ジャワ島中部地震について、全国の生協からの支援が広がっています。



5月27日に発生したインドネシアのジャワ島中部地震では、ユニセフの支援として緊急物資が被災者のもとに届けられるとともに、初期に行われたニーズ調査に沿って、水と衛生、子どもの保健、教育の分野で支援が行われました。

全国の生協においても、直ちに緊急募金活動が開始されました。店舗ではサービスカウンターやサッカーボードに募金箱が設置されました。また、共同購入・個配ではOCR注文用紙や募金封筒による募金が取り組まれました。

地域にある災害支援を行っているボランティア組織やユニセフ協会の県支部に対して募金を行ったり、独自にチラシを作成して組合員に呼びかける事例も見受けられました。

被災地の復興はこれからになりますが、今後も全国からの温かい支援をお願いします。

コーポレートの店舗に設置された募金箱。

■ユニセフシンポジウム報告■

「エイズは大人だけの問題じゃない」～子どもたちを HIV/エイズの脅威から守るために～

2006年5月23日（火）に開催されたシンポジウムでは、小雨の降る中、高校生や大学生などを含む大勢の参加がありました。その中の報告やパネリストの方々のお話をご報告します。

第一部：基調報告

I—ユニセフ本部エイズキャンペーン責任者ピーター・マクダーモット氏からの報告

—『エイズ対策から置き去りにされた子どもたち』

HIV/エイズが確認されてから20年余り、エイズは大人の病気であるという認識のために、長い間子どもたちはHIV/エイズの感染予防・治療などへの取り組みの外に置き去りにされてきました。HIVに感染している子どものうち、適切な治療を受けられる割合は5%に達しません。HIV/エイズが子どもたちに与える影響を認識し、次の世代の子どもたちがHIV/エイズの脅威におびえずに生きられるように、「今、ここから」行動を起こすことが大切です。

II—アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使からの報告—『アフリカ・レソト王国：エイズ孤児たちの現実』



©日本ユニセフ協会

レソト王国は国境を南アフリカ共和国に囲まれた、人口180万人の小さな国です。山々に囲まれたこの美しい国で、HIV/エイズは静かに、しかし確実にレソトの人々の命を奪っています。国民の約4分の1がHIVに感染しており、そのために、1991年に60歳だった平均寿命が、現在は35歳になってしまいました。レソトの人々は、国内に職がないために、国境を接する南アフリカ共和国に出稼ぎに出ています。しかし、それはレソトに収入だけではなく、招かざる客、HIVをも運んできているのです。訪問したモホトロング県モホトロング市から車で40分程のボバツィ村では、親を亡くし子どもだけで生活するエイズ孤児が置かれている厳しい現状を知り、ひどく心が痛みました。両親を亡くし二人で暮らしている幼い姉弟は、レイプの被害に遭うことや村の外に捨てられる

れることを恐れて、夜自分達の家で寝ようとしません。このように、エイズ孤児は親だけでなく安全に生活できる場所をも失っているのです。また、ボバツィ村ではHIV/エイズに関する激しい偏見の存在と診療所が遠すぎることが、HIV/エイズの検査・治療を妨げているといいます。

第二部：パネルディスカッション

報告に続いて行われたパネルディスカッションでは、4人のパネリストから次のような意見がだされました。

● **ユニセフ・エイズ対策事業担当官の大井佳子氏** HIV/エイズに対する偏見が、現場での予防・治療への支援活動を困難にしています。例えば、母子感染を防ぐためには、母乳ではなく粉ミルクで赤ちゃんを育てることが重要です。しかし、供給された粉ミルクを持って診療所からくるところを見られると、HIV感染者であることがばれて差別されてしまうような環境では、HIV感染者の母親への粉ミルクの供給がうまくいかず、母子感染を防ぐことが難しくなります。

● **(財)エイズ予防財団会長の島尾忠男氏** 日本でもHIV感染者は増加傾向にあり、若者の間で無防備な性的活動の傾向が見られます。検査体制やエイズに関する正しい知識を身につけることが大切です。

● **(財)日本ユニセフ協会副会長 東郷良尚氏** アフリカでの悲惨な状況が伝えられる中で、私たちはHIV/エイズの問題を「海の向こうの出来事」という風に受けとめてしまいがちです。しかし、日本人観光客も多く訪れる東南アジア諸国でも若年者の買春などが原因で、HIV/エイズは拡大傾向にあるのです。

● **マクダーモット氏** 日本の皆さんとHIV/エイズの脅威を取り除くためにできることは、エイズに対する偏見をなくし、HIV/エイズに関する正しい知識を身につけて、それを他の人と共有すること。そして、子どもたちがエイズ対策の枠の外に置かれていることをメディアや政治指導者に訴えていただければと思います。



HIV/エイズについて

連載第2回

あなたはどのくらい知っていますか？

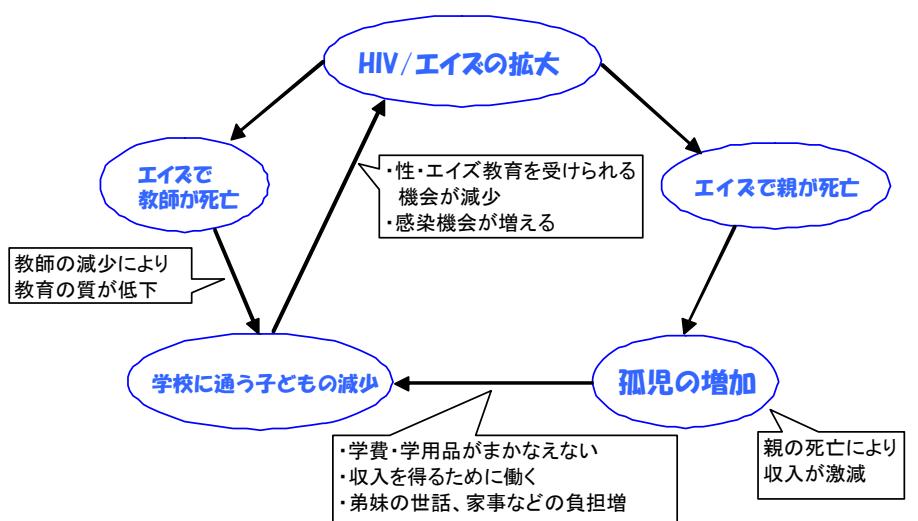
“UNITE FOR CHILDREN UNITE AGAINST AIDS（子どもたちのために エイズと闘おう）”を合言葉に、ユニセフ協会が展開している「子どもとエイズ」世界キャンペーン。ぽむぽむ通信でも、HIV/エイズの脅威から子どもたちを守るために、自分たちにできることを考え、アクションを起こすきっかけにしたいと考え、前号よりHIV/エイズについて学ぶ本シリーズをスタートさせました。第2回目は、世界でHIV/エイズが拡大している理由、女性や子どもたちに与えている影響についてご紹介します。（日本ユニセフ協会インターン：福田、レイアウト：尾澤結花）

Q. HIV/エイズが子どもたちに及ぼす影響は？

A. 現在世界には、子ども（15歳未満）のHIV感染者が230万人いると推計されています（UNAIDS/WHO報告書）。HIV/エイズは子どもの主要な死亡原因のひとつになりつつあります。例えばボツワナでは、2002年時点で、HIV/エイズが子ども（5歳未満）の死亡原因の第一位になっており、子どもの死の約60%はHIV/エイズによるものです。（WHOホームページより）また、子どもがHIVに感染する主な原因として、母子感染、設備の行き届いていない施設での分娩時のHIVに感染した血液への接触、性的暴行、無防備な性的活動などがあります。

子どもたちが直接の被害者になることに加えて、HIV/エイズにより、親をなくした子どもたち（エイズ孤児）の問題も同様に深刻です。2003年時点で、エイズ孤児は世界に1500万人、5人中4人はサハラ以南アフリカに住んでいます。2010年には1,800万人まで増えると推定されています。

エイズ孤児の多くは、貧困に陥り、学校に通えなくなったり、収入を得るために過酷な仕事をしなくてはならなくななります。また、エイズ孤児の増加は、右図のような経緯をたどって、さらなるHIV/エイズの拡大につながっていく危険性があります。



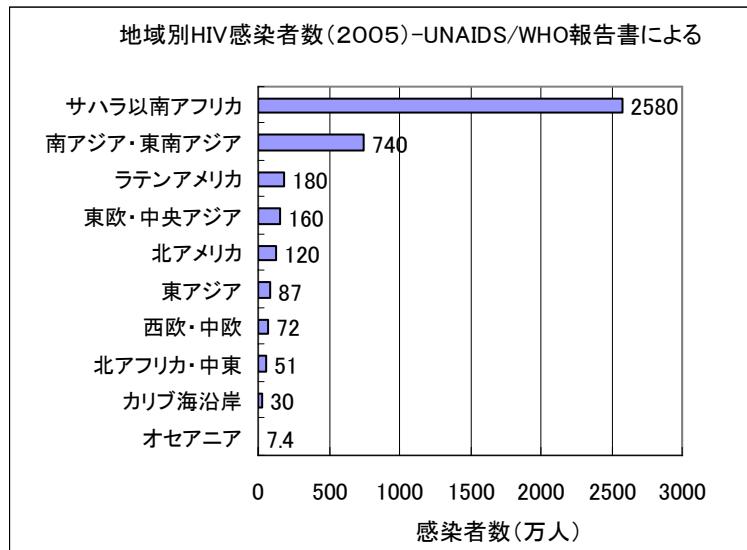
Q. 女性は男性よりもHIVに感染しやすいの？

A. サハラ以南アフリカでは、2005年時点で、成人のHIV感染者（15-49歳）の57%が女性と推計されています（UNAIDS/WHO報告書）。女性、特に若い世代のHIV感染者增加の背景には次のような要因が考えられます。

- ・男性に比べて身体的にHIVに感染しやすい
- ・男性に比べて、性、HIV/エイズについての知識をもっていない
- ・家庭や、学校、職場などの性的暴行に遭いやすい
- ・女性は男性に比べて、貧困や不平等などの理由から、生活のために売買春や人身売買の被害を受けやすい。

Q. 世界にHIV感染者はどのくらいいるの？

A. 世界でもっともHIV感染者が多い地域はサハラ以南アフリカで、全感染者（4030万人）のうち65%を占めています。



Q. HIV/エイズが急速に拡大してしまうはどうして？

A. HIV/エイズを拡大させる要因には、次のようなものがあります。

① HIV/エイズに対する差別、偏見のせいで検査、治療、予防が進まないこと

HIV/エイズであることがわかると社会から疎外される環境では、HIVに感染しているかもしれないという疑いを抱いていても、検査を受けにくくなります。その結果、自分がHIVに感染していることに気づかないまま、性交渉などを通じて、他の人に感染させてしまい、これがHIV/エイズの拡大につながっています。

② HIV/エイズに関する正しい知識の欠如

HIV/エイズという病気の実態、HIVに感染しないためにはどうすればいいかなどの知識を持っていないことは、若い世代を中心としたHIVの感染拡大につながってしまいます。

サハラ以南アフリカでのHIV/エイズについての知識保持率（2003）

	男性 (%)	女性 (%)
コンドームがHIVの感染を防ぐことを知っている	68	54
見た目には健康そうでもHIVに感染している可能性があると知っている	68	58
HIV/エイズについての包括的な知識をもっている*	31	23

(世界子供白書 2006)

サハラ以南アフリカでは、男性の約3割、女性の約2割しか、HIV/エイズに関する包括的な知識を持っていません。また、3項目すべてについて、知識をもっている人の割合は、女性のほうが男性に比べて低いことがわかります。

* 15-24歳の若い男女のうち、性交渉を通じたHIV感染を予防する2つの主な方法（コンドームの使用と、ひとりの忠実でHIVに感染していない相手のみと性交渉をもつこと）を認識し、HIVについての現地の誤解を否定し、健康そうに見える人でもHIVに感染している可能性があることを知っている割合

「子どもとエイズ」世界キャンペーンの詳しい内容については日本ユニセフ協会ホームページをご覧下さい。
<http://www.unicef.or.jp/campaign/051025/index.html>

UNITE FOR CHILDREN UNITE AGAINST AIDS

この国 どんな国 パキスタン・イスラム共和国

神々の時代よりの世界の十字路
多くの民族、宗教、文物が往来した
インダス川に育まれ 北に 8,000m級の
山々を有する国



面積 79万6,096km
(日本の約2倍)
人口 1億5,250万人
公用語 ウルドゥー語

アッサラーム！！ こんにちは！
パキスタン・・「清浄な国」という意味



330万人が住居を失い 7万5千人が死亡、12万5千人が負傷。緊急支援は冬にしては穏やかだった気候、人々の回復力、パキスタン政府、軍、国連機関、NGO、市民団体間のすばらしい連携もあり予想以上の成果を上げることができました。今後は自分の村に戻りつつある人々にむけ、毛布 衣服、学用品などの提供 基礎保健ユニットの設置、多くの子どもが学校に通えるよう「ウェルカム・トゥ・スクール」プログラムなどの支援活動が継続されます。

歴史

- 紀元前
2600～1700 インダス川流域に古代インダス文明の展開
2大都市遺跡 モヘンジョダロ ハラッパー
- 1世紀前半 タキシラのジョーリアン遺跡
- 西暦
130～155 クシャーナ朝最盛期 ガンダーラ美術興隆
- 712 ムハンマド ピン カーシム率いるウマイヤ朝アラブ軍 シンド地方征服
- 1526 パーブルが、サルタナット朝を廃し ムガル朝を確立
- 1857～59 インド大反乱 イギリスが鎮圧 ムガル朝滅亡
- 1947 パキスタンとインドと分離独立。西パキスタンと東パキスタンの二地国家が誕生
- 1948 カシミールの帰属を巡って第一次印パ戦争
- 1956 パキスタン新憲法発布「イスラム共和国」を宣す
- 1965 第二次 印パ戦争
- 1971 第三次 印パ戦争 東パキスタンがバングラディッシュとして分離独立
- 1974 インドとの間に共同声明 国交正常化
- 1977 ジアーウル・ハック将軍がクーデター翌年大統領に ソ連のアフガン進攻で北西部に難民が流入
- 1979 総選挙でベーナジール・ブットー政権成立
- 1988 バローチスタンで地下核爆発実験
- 1998 軍事政変により、ムシャラフ陸軍参謀長が首相を拘束 実権を握る
- 2002 総選挙 議会復活

「地球の歩き方」p248 パキスタン歴史年表より 抜粋

アラカルト

カラコルム ハイウェイ (KKH)

1958年から中国との合同事業として始まり20年かけて完成した。世界で最も厳しい地形を切り開いた。といわれている。

ド派手なバス

とにかく 目をひくハデハデの装飾。カラフル。このハデハデ装飾はバスだけではありません。トラックもハデハデ。ゴージャス。

リキシャー

屋根のあるオート三輪のタクシー。ドライバーは前の座席、後部座席に乗客2人。狭い路地などをいくのは便利。

カレーとナンとチャパティとチャイ

主食である ナンやチャパティで カレーをすくうようにして食べ、砂糖たっぷりの甘いミルクティーをいただく



世界の子ども達は今

<パキスタン>



童謡「マタリ・バチャ」を披露

大人気の当てっこゲーム

「子どもにやさしい空間」(Child Friendly Space)」

子どもにやさしい空間は、1999年のコソボでの緊急事態の時に作られたコンセプトです。紛争や災害などの緊急事態下にいる子どもたちが、安全な環境で、学んだり遊んだり、精神的なサポートを受けられる場所のことをいいます。

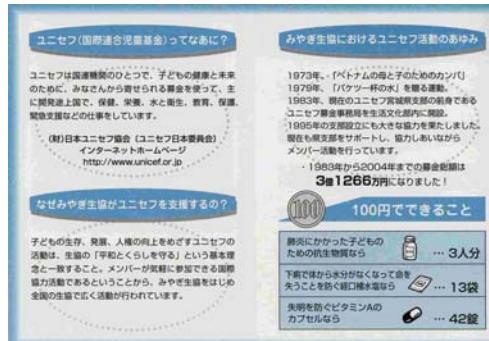
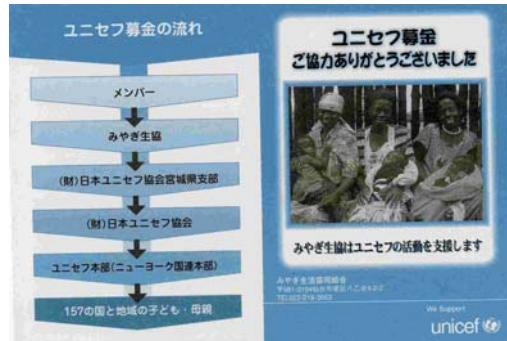
(文) 松本真弓 / (絵) 蟹沢素子

募金報告とお礼、どうしてますか？

ユニセフ募金に取り組んでいただいた方へ、その成果をどのようにご報告していますか？いくつかの事例をご紹介します。

みやぎ生協 サンキューカード

班回覧の募金袋で募金してくださった方に、募金袋についていた領収書にかわり、サンキューカードをお渡しすることにしました。



ちばコープ

平和のとりくみをご紹介する冊子で、スタディツアーで見たユニセフの支援活動の報告や組合員からのメッセージ、募金額を報告しています。



いわて生協 機関紙にて

ユニセフ特集。ユニセフ委員会メンバーからのメッセージやスタディツアー参加者の視察レポートとともに、一般募金や指定募金をご紹介。緊急募金は写真つきで支援報告をしています。

岩手県学校生協

募金協力校にお礼のお手紙とユニセフ活動報告 2005 を一緒に送り、回覧していただきました。

ユニセフ活動報告2005

ご回覧、お願ひいたします											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
11	12	13	14	15	16	07	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		

ユニセフ一般募金のご協力 ありがとうございました

学校生協では10月25日現在、

5,295人

1,139,560円

のご協力をいただいております。

ユニセフ募金袋を回収・集金していただきまことに
ありがとうございました。

地区知事会等のご意見の中に「きちんと募金が届いていないのか心配です」という声があり、学校生協ではご協力いただいた学校へご巡回いたいた募金袋」と「領収書」を添えてお返しする運びといたしました。

お預かりした募金は日本ユニセフ協会に確実にお渡しいたしました。

お預り頂いていたいる会員と学生で実行に更に熱い企画や発表会等ござりますが、その際の「収取領収書」は実際に受け取らせていただきました係員となっております。また、4年後の募金袋で3月1日出荷お届けいたした割合は2005年度第一回募金分としてお預かり致しますのでご了承願います。

＊地図に記載している会員と学生で実行に更に熱い企画や発表会等ござりますが、その際の「収取領収書」は実際に受け取らせていただきました係員となっております。また、4年後の募金袋で3月1日出荷お届けいたした割合は2005年度第一回募金分としてお預かり致しますのでご了承願います。

Thank you!

世界の子どもたちへの
あなたの力による支援
ありがとうございます

For every child
Education, Equality, Protection
ADVANCE HUMANITY

unicef
JAPAN 2005

† 中間に2004年度収支報告が掲載
されています。ぜひご覧ください。

バキスタン地震は、いま…

日本ユニセフ協会は、バキスタン震災の被害を受けた子どもたちを支援するため、200万ドル（約12億3000万円）を手すり資金から緊急輸出することを決定。

一方、国連アピール（目標200万ドル）への支援は、いまだ10%以下に過ぎず、ユニセフに対する支援額も、まだ8435万ドル（約73億円）の半分未満、41%しか寄付られていません。

厳しい冬がすぐそこまで近づいているなかで、被災者の状況は決して深刻の段階をきんでいます。学校生協では今回の募金のほかから「バキスタン地震」へ振り込めてくださいます。ご理解とご協力によろしくお願いいたします。

日本ユニセフ協会は、2004年1月に
日本政府を通じて、震災復興支援事業
に参画する形で、日本政府の2004年分

ラオス指定募金 1年間の成果

①ヨニセウの支援で、小学校が新たに開校でき、学生が近くで通えるなっつった。1,800人の子どもたちが毎日学ぶ機会となりました。

②就労教育の子どもたちの大切さと育児方法を知るため、農業部はラオ人民革命党中央委員会より「育児方法セミナー」を開催されました。

③④ナハント村のセビセ村の新しい幼稚園が利用できるようになり、1,000頭の水牛を一日かけて安全な飲み水を得らるるようになりました。

⑤1,277台の自転車が新しく配達されました。

⑥4,000台の自転車が新しく配達されました。また、自転車の修理や点検も実施されました。

⑦就労教育の子どもたちが就労についての知識を深めることで、子どもたち自身で収入を得られます。

⑧1,000台の自転車が新しく配達されました。

支援を受けたナハント村はいま

年	人口(千人)
1975	1,000
1980	2,000
1985	4,000
1990	6,000
1995	8,000
2000	10,000

ナハント村はつい最近までは、1990年代まで学校がありませんでした。そこで清水先生が中心となり、地元の人々と一緒に学校建設の活動を行ってきました。しかし、既存の資源だけでは、大きな学校建設の費用を捻り出していくことは、とても困難でした。そこで2000年に二つのプロジェクトが実現されました。一つ目は、自転車の修理や点検を行っていること。子どもたちが自転車を乗ることで、自転車の収入を得られるから、保護者や親の収入も増えてしまうのです。他の資源を導入する、収入をどこかに回す手帳を使つてツケアを貯めることなどの知識を学んでいました。

教育によって、村の生活が大きく変わりました。

about Lao People's Democratic Republic

ラオスの概要

【国名】ラオ人民民主共和国は東南アジアに位置し、中国・ベトナム・タイ・カンボジア・パラオと国境を接する内陸国で、総人口はおよそ600万人、面積は236,880km²です。

生活協同組合 おおさかバレーボー **大阪よどがわ市民生活協同組合**

TEL.06-6242-0904 FAX.06-6242-0926 TEL.06-6319-5619

ご報告にご活用ください

■ 写真を手に入れる

- ① コープユニセフ メーリングリストに登録いただくと、Yahoo!の機能を利用してグループのホームページから、お好きな写真をダウンロードすることができます。
- ② 日本ユニセフ協会 生協担当までお問い合わせください。ご要望にあわせて E メールで写真をお送りします。
- ③ 日本ユニセフ協会ホームページ (www.unicef.or.jp) に掲載している写真は、募金のお願いやご報告などに転載していただいても結構です。

ここに注意！

- 写真の脇には必ずクレジット(©UNICEF...)を記載してください。

■ 一般募金の報告

- ① 日本ユニセフ協会ホームページ「皆様のご支援で」コーナーから
<http://www.unicef.or.jp/shien/index.html>
 - ② 資料から
ユニセフ年次報告（A4 冊子 約 50p）やユニセフ活動報告(100 × 195mm)でご報告しています。日本ユニセフ協会までご請求ください。
 - ③ 「全国組合員活動情報」5月号にもご報告を掲載しています。
- ご要望に応じて、E メールでの報告書もお送りいたします。ご相談ください。

■ 指定募金の報告

- ① 毎年の地連会議での資料で報告書をご提出しています。
- ② 日本ユニセフ協会 生協担当までお問い合わせください。ご要望にあわせて E メールで写真をお送りします。
- ③ 日本ユニセフ協会ホームページでも、簡単なご報告を近々掲載予定です
http://www.unicef.or.jp/partner/partner_ex2.html >生協のご協力から

■ 緊急募金の場合

日本ユニセフ協会ホームページをご覧ください。

皆様のご支援で <http://www.unicef.or.jp/shien/index.html>

緊急支援情報 http://www.unicef.or.jp/children/child_eme.html

☆ぽむぽむ通信の通算 32 号をお届けします。全国のユニセフ協力活動の交流誌としての役割はもちろん、世界の国々や子どもたちの様子も積極的に紹介していきます。また、各地の活動の参考になるような取り組みのご案内も行っています。
☆全国の活動事例や、ぽむぽむ通信の感想・ご意見をぜひお寄せください
☆次号は、9月 15 日発行です。
お楽しみに！

ぼむぼむ広場

ユニセフ*コープネットワーク
ぼむ・ぼむ通信
No.32 2006 年 6 月 15 日発行
編集 グループ ぼむ・ぼむ
スタッフ・編集／尾澤・谷杉・浜崎・福本・藤森・
松本・山本・林田・北村・茂垣
イラスト／蛇沢
発行 日本生協連 組合員活動部
〒150-8913
東京都渋谷区渋谷 3-29-8 コーププラザ 11 階
TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125
ホームページ <http://www.jccu.coop/>